

資料館だより

CONTENTS

- 1… TOPICS
- 2… 展示活動報告／講演会実施報告
- 3… 雑感／新規寄贈・移管資料
- 4… 開催案内

「歴史学掛図、
金沢市三百年祭図」
(1891〔明治24〕年)

TOPICS

資料館特別展「石の博物誌」を開催



テレビ取材を受ける奥野館長

毎年恒例の資料館特別展を、今年度は平成30年9月19日(水)から10月28日(日)まで「石の博物誌」と題して開催しました。

一昨年度に「ガラスの博物誌」と題して人工物である“ガラス”の起源と日本への伝来等を紹介する特別展を開催しましたが、今回の特別展では“博物誌シリーズ”の第2弾として天然物である“石”を取り上げました。

本展覧会では、平成28年に金沢大学で開催された日本鉱物科学会総会において、日本の国石に選ばれた「翡翠(ひすい)」並びに同年に日本地質学会が「県の石」を選定した際に「石川県の石」に選ばれた「珪藻土」及び「霰(あられ)石」を中心に、最終候補まで残りながら国石になれなかった鉱物、石でできた考古資料、第四高等学校等の前身校から本学に引き継がれた貴重な鉱物標本、北陸地方の鉱山等について紹介しました。翡翠や水晶に代表される天然の石の美しさや魅力を堪能いただき、古代から人類の歴史に影響を与え、現代のIT社会の基礎となる原料としての石についても考える機会となりました。

なお、本展覧会の内容については、図録「石の博物誌」として資料館Webサイトの「刊行物」に掲載していますので、関心のある方は、そちらをご覧ください。

展示活動報告

アウト
リーチ展

出張写真展「あのころの金沢大学」開催

会期 平成30年10月19日～11月5日 会場 金沢城公園河北門

金沢城公園河北門において今年で3回目となる出張写真展を「あのころの金沢大学」と題して開催しました。

例年、本学のホームカミング日に合わせて城内キャンパス中心の写真展を開催していましたが、今年は城内にキャンパスがあった頃の金沢大学の各キャンパスにも焦点を当て、新たな写真を加えて紹介しました。

18日間の開催期間中に15,000人を超える入場者数があり、同窓生を含む多くの市民と観光客の方々にご覧いただきました。



美術展

「i-Acanthus Ars 2018」開催

会期 平成30年11月1日～11月9日 会場 資料館展示室



恒例となった人間社会学域学校教育学類美術教育専修の学生、教員及び卒業生による作品展覧会が資料館展示室で行われました。

会場には、絵画、彫刻、デザイン、写真、工芸などの作品約30点が展示され、多くの方が鑑賞に訪れました。

講演会実施報告

特別講演会「国石翡翠の価値」を開催

中央図書館AV室を会場に、「国石翡翠の価値」と題して10月15日(月)に講演会を開催しました。

これは、資料館特別展「石の博物誌」の開催に合わせて企画したもので、この展覧会の展示にも協力いただいたフォッサマグナミュージアムの宮島宏先生を講師にお迎えし、翡翠の特徴と見分け方、翡翠(ひすい)が国石に選定された経緯等についてお話しいただきました。

当日は、「石」に興味を持たれる一般の方々の来聴者も多く、好評を博した講演会となりました。



学生企画展を通して感じたこと ～企画から展示まで～

学生企画展では、リーダーと主に展示を担当する展示班の構成メンバーを担当していました。この企画展では、資料による「独白」が重視されるため、展示、デザイン、キャプションを含めて正確かつ来館者の方に向けたのしく読んでもらえるにはどうしたらいいだろうかということを中心に作業してもらい、それが雰囲気にもそぐうか、空間的にはどうであるかに基づいて吟味をしていました。

企画に至るまでの話し合いが難航し、本格的に準備する期間の取れない中での作業でした。展示班の一員でもあったため情報の共有がしやすく、全体の指示と方針の発想や共有を展示班内で進めることで司令部としての役割を果たして貰えました。



資料を展示中の松下さん(右)

人間社会学域人文学類 4年 松下 梓



ミュージアムツアーで展示資料の解説をする狩山さん(奥)

今回私はポスターやキャプションパネルをデザインする班に所属していました。一番大変だったのはキャプション班が作った文章をパネルデザインしてみたときに文章量が多いため書き直してもらって、またデザインして書き直しての繰り返しが続いたところです。その作業をスピーディーに行うため、デザイン班だけではなくキャプション班と展示班も一緒に集まってパネルデザインをしたので、班分けしてはいるものの完全分業ではないということを実感することができました。また、地藏菩薩のイラストですが、パネルデザインの話し合い中に私がお隣の紙にかいた落書きから生まれました。感想ノートにイラストを真似してかいてくれている人が多くて嬉しいです。

人間社会学域人文学類 4年 狩山純菜

平成30年 1月～12月
寄贈・移管資料

今期も貴重な資料を寄贈・移管していただきました。当館にて大切に保存し、活用させていただきます。ここに、改めて感謝申し上げます。

寄贈

- ・ 入学志願者心得、第四高等学校(1945〔昭和20〕年2月)外4点 大上能里子氏

移管

- ・ 小立野キャンパス工学部校舎内の門標 ①「北辰門」②「金大工学部」③「西成門」 施設部
- ・ 教育掛図(地図)一式(24点) 国際基幹教育院
- ・ 旧工学部関係資料 金沢大学工学部体育大会の優勝旗外8点 理工学研究域機械工学系



(小立野キャンパス工学部校舎内の門標)

開催案内

学生
企画展

「物録(モノログ)－資料達の波乱万丈な『モノ』ガタリ」

会期 平成30年11月16日～平成31年1月29日 会場 資料館展示室



資料館展示室では、11月16日(金)から1月29日(火)まで学生企画展「物録(モノログ)－資料達の波乱万丈な『モノ』ガタリ」を開催しています。

この展覧会は、今年度に「博物館実習」を受講している学生たちが、これまで学んできた博物館学の理論及び学外での館園実習の実践経験を踏まえ、テーマ選定からポスターデザイン、パネル作成及び資料の選定・展示に至るまでほぼ全ての学芸員業務を自ら行った成果発表です。

今回は、様々な理由で本来の役目を終えた「モノ」たちが、博物資料としてその価値を見出され、新たな役割を果たしていくことにスポットを当て、ストーリー仕立てで紹介するものです。

また、この期間に、学生の企画によるミュージアム・ツアーやワークショップも計画しています。ぜひ、御来場いただき、学生たちの力作を御覧ください。

アウト
リーチ展

「バンカラ寮生類～金大寮史125年～」

会期 平成31年1月18日～2月17日 会場 石川四高記念文化交流館 多目的利用室1

香林坊交差点そばの広坂通にある石川四高記念文化交流館で開催する出張展覧会(アウトリーチ展)も今回で3年目になります。

過去2回の開催では、他の文化施設との連携事業として、共同で開催してきましたが、本年度は、初めて資料館単独での開催になります。

今回は、昨年度に展示室で学生企画展として開催した「バンカラ寮生類～金大寮史124年」をリメイクし、明治、大正、昭和、平成の寮生の生活を紹介します。一般市民、観光客の方々をはじめ、学生、教職員の皆様の来場をお待ちしていますので、香林坊周辺にお出かけの際は、ぜひ、お立ち寄りください。



編集後記

学生による企画展「モノログ」でも紹介されていますが、開館以来、資料館にはさまざまなモノたち・文書たちが収蔵されてきました。展示をご覧になった来館者から、「よく残っていますね。」と感心されることがありますが、自然に残ったのではなく、開館以来、時代時代の館長・教員・係員・関係者が「残そう」という意志のもと、必死に守ってきた結果だと思えます。今年は資料館開館30周年を迎えます。私たちも次の30年のために、貴重資料を確実に残していく使命があると思っています。(笠原健司)

金沢大学資料館だより

第58号 平成31年1月発行



発行/編集 金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町

TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050

Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

<https://museum.kanazawa-u.ac.jp>